

7.15 summer 2019

〒810-0001 福岡市中央区天神5丁目2-1

公益社団法人 福岡県美術協会 (福岡県立美術館内)

tel 092-713-4200 fax 092-791-1472

e-mail: fasartseven@wing.ocn.ne.jp

「こんなところ美術協会には何も貢献し
とらん私でよろしうでしようか?」
「できるだけ、これからも創ることには
関わって生きて行きたい」と、この取材
をためらった釜我敏子さんは、そう言いなが
ら傍の最新作を見せてくれた。
デザインの基になったのは、沖縄の植物
「さがり花」(内地ではあまり見られない夕方
から咲きはじめる美しい花である)。そのデ
ザインは前にも増して生き生きと鮮やかに
なった。釜我さんの型絵染の着物は、一枚の
連続模様から始まる。
型継などの秘密を聞くと、工房に連れて
行って説明してくれた。型絵染は、A3程度



型絵染め着物「さがり花」

「生き生きと 命を輝かすものを 創りたい」

日本を代表する型絵染作家
釜我 敏子 (工芸部会員)



釜我 敏子 (かまが としこ)

- 1938年 福岡生まれ
- 1958年 福岡県立福岡高等学校卒業
- 1968年 型染を始める
- 1979年 日本工芸会正会員に認定される
- 2005年 福岡市文化賞受賞
福岡県春日市民文化賞受賞
- 2007年 第54回日本伝統工芸展
日本工芸会奨励賞受賞
- 2012年 第59回日本伝統工芸展
朝日新聞社賞受賞
- 2014年 福岡県文化賞受賞
伝統文化ボーラ賞 優秀賞受賞
第61回日本伝統工芸展 鑑査委員
- 2018年 第65回日本伝統工芸展 鑑査委員
第65回日本伝統工芸展
入選「さがり花」

の渋紙にスケッチした細やかなデザインを
切り抜く。全てが切り絵のようにつながっ
ている。それを保護するため絹の紗を表か
ら漆で貼る。創作は全ての工程、デザイン・
型紙制作・のり置き・染色を独りでやる。肩
の凝る細やかな作業である。釜我さんはこ
れまで何度も辛い腱鞘炎に耐えてきた。
鈴田照次先生の型絵染を見たとき「永
年探していた物は、これだ!と雷に打
たれたようでした」
ろうつ染めの教室に通っていた頃、偶
然目にした鈴田照次先生の型絵染めの美し
さに魅入られて、先生が非常勤講師をされ
ている佐賀大学に向かった。先生はお弟子
さんを取っておられず、同じ大学の城秀男
先生の研究室に通った。1968年(昭和4
3年)30歳の頃だった。その研究室でデザ
インの基礎を学ぶことで、釜我さんの染織に
対する思いが一層充実した。その意欲には驚
くばかりだ
初めての受賞は、福岡市美展のその作品
でしたと僕が座ったソファの横の行灯を指
差した。それはまだ、切り口にぎこちなさが
残る古い型紙の作品でした。それから何度
も中央展に入選し始めた頃、新しい出会い
に恵まれたのです。人間国宝松原定吉さん
の息子さんの松原工房に、糊置き基礎か
ら学ばせて頂いた。

「野の花を題材に、
全てのデザインは自分の手で」
釜我さんの笑顔とその輝かしい受賞歴をみ
ていると、その人生は順風満帆のように見え
る。とても「苦しみ抜いた人」には見えない。
苦労話は一切語りがらない。かなりの負け
ず嫌いでもある。ライバルは自分自身。自
分に負けてしまわないようにとの強い思いで
ある。

他部門の創作に対する考え方にも、興味があるようだ。デザイン部の僕や写真の堀川さん
の創作の世界にも踏み込む。それを聞くと
きの彼女の表情は、まるで少女のようなキラ
キラした目になる。これからは「生き生き
と命を輝かすものを創りたい」。
年下の僕が言うのも可笑しいが、爽やかな
笑顔の彼女こそ、型絵染めの新しい未来を感じ
た。
(インタビュー:文・山田彰/写真・堀川不男)





令和元年度 公益社団法人 福岡県美術協会定時総会報告

令和元年6月23日(日)14:00-16:06 アークホテルロイヤル福岡天神

6月23日(日)午後2時よりアークホテルロイヤル福岡天神で「令和元年度 公益社団法人 福岡県美術協会定時総会」が開催された。出席者196名、委任状425名、合計621名、会員数812名。会員の過半数を満たし、総会成立宣言がなされた。田浦事務局長、落石事務局参与により司会進行、峰松・田中・野出会員のアナウンス補助、筒井副理事長の開会宣言により総会は勧められた。

小田部理事長の挨拶では、昨年度の総括と本年度の新たな取り組み等が述べられた。

顧問の九州電力株式会社特別顧問の松尾新吾様、県議会議員の今林久様よりご挨拶を賜り、来賓の福岡県教育庁教育振興部社会教育課課長 富松文夫様、福岡県立美術館館長 今田義雄様よりご祝辞を賜った。議長(理事長)の進行で議事録署名名人に小林敏夫理事・山田理事、書記に印藤事務局員、岩崎事務局員、記録には、写真部の堀川広報委員が委嘱された。

審議事項として

- ① 平成30年度決算書の承認の件
- ② 平成30年度事業報告及び経過報告(田浦事務局長)
- ③ 平成30年度決算報告(川波財務担当理事)
- ④ 平成30年度監査報告(鐘ヶ江監事、篠原監事)
- ⑤ 第2号議案 理事及び監事の選任の件(田浦事務局長承認後に新理事・監事が登壇し、紹介を行った。報告事項として

① 令和元年度事業計画及び収支予算(田浦事務局長、川波財務担当理事) 異議なく議案は承認された。退任される理事・監事の紹介、令和元年度新部会委員長・副委員長の紹介、新賛助会員の入会及び平成30年度正会員の異動の報告、ご逝去された方(9名)・退会(33名)、令和元年度新会員の紹介及び会員証交付(36名出席は31名、会員在籍40年表彰(18名出席は8名)が行われ、16時06分に総会は終了した。その後休憩の間、新理事会を開催。再開後、新役員の紹介を行い、新理事長の小田部氏より挨拶がなされた。その後、各部門に分かれ各部会総会が開催された。

(事務局長/田浦哲也)

福岡県美術協会定時総会に寄せて



福岡県教育庁教育振興部
社会教育課長
富松 文夫

公益社団法人福岡県美術協会におかれましては、日頃から本県における芸術文化の振興に大きく寄与され、県民の文化創造の一翼を担われていることに對しまして、心から感謝申し上げます。

また、平成三十年度には名誉会員の古野靖弘氏と会員の築城則子氏が地域文化功労者文部科学大臣表彰を受賞されましたほか、名誉会員の小川規三郎氏が西日本文化賞を受賞されましたことを心からお慶び申し上げます。

さて、美術協会におかれましては、一昨年度よりホームページの制作に取り組んでこられたと聞いております。協会や会員の皆様

福岡県美術協会定時総会を終えて



公益社団法人福岡県美術協会
理事長
小田部 黄太

6月23日に福岡県美術協会定時総会を行いました。詳細は報告に譲りますが、今年は部会委員の選挙の年でありました。そして、総会では選挙によって選ばれた各部会委員会より推薦いただいた理事と、理事会から推薦いたしました監事についてご選任をいただきました。今年度より、各部会の委員長、副委員長を、理事と分けて選んでいただくようにしております。それは、各部会のとりまとめや運営と、理事会での協会全体としての取り組み、運営を役割分担して行っていく、ということであります。とは言いましても、各部会からの意見や情報等を理事会に上げていただいたり、理事会からの各部会への連絡等をスムーズに行うことは極めて重要です。今後も理事と部会のコミュニケーションを密におこなっていただきますよう、よろしくお願い致します。

また、総会後の理事会において、私が理事長に再任されました。改めて身の引き締まる思いでございます。1期目の2年間で規約・規定の整備を行いました。これにつきましては、今回退任されます

の活動を発信することで、児童・生徒を含むより広い世代の人々に、これまで以上に文化芸術に触れる機会を提供することにつながることを期待しております。

また、小中学生の作品展への支援や障がい児者美術展など、本県の子どもの美術教育・文化芸術活動の推進にもご尽力いただいております。

現代は、経済的な豊かさに加え、心の豊かさが求められる時代です。文化芸術には、楽しみ、喜び、精神的な安定をもたらす効果があり、より身近なところで文化芸術に親しめる環境づくりが求められています。県教育委員会としても、美術協会と連携を図りながら、文化芸術活動の推進により一層取り組んで参りたいと考えております。今後とも、御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、福岡県美術協会のさらなる御発展と、会員の皆様方ますますの御活躍を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

吉塚専務理事のご功績が、非常に大きかったことを会員の皆さまにもお知らせいたします。本当にありがとございました。吉塚先生は新理事会では監事をお願いいたしております。それから、昨年ご審議いただいた会費の値上げに加え、賛助会員を増やしていく取り組み等を通じて、財務体質の改善等に取り組んでまいりました。また、事務体制につきましても外部監事の篠原先生(公認会計士)のご助言などを得ながら、強化に取り組んでおります。賛助会員の拡充にも篠原先生に大きくご貢献いただいております。

これからの2期目の2年間では、会員の皆さまのご協力を得て立て直していただきました財政を基盤とし、公益社団法人として何に取り組んで行くのかが問われることになると考えております。令和の新しい時代を迎え、これから社会の状況が大きく変わっていくと言われております。今後、多くの仕事が無くなっていく等と言われているなかで、美術の力、表現の力、「創造力」こそが新たな社会の中で必ずや重要になっていくと考えております。協会の目的である美術の普及振興、会員の親和と相互研鑽というところに立ち返り、公益社団法人としてこの福岡から美術の力を発信していく取り組みを行っていかねばならないと考えております。会員の皆様のご意見やご協力を得ながら、進めて参りたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



書 福岡市南区
藤山 朋子

日暮れて道遠し。めげず
に書を楽しみます。



書 飯塚市
井上 水桜

書は大好きなフラと共に、
私の心の友です。



彫刻 小郡市
灰塚 みゆき

わくわくやドキドキを
人体塑造に込めたい。



洋画 久留米市
馬場 君子

私の青空に自由な絵と
希望の思いを描きたい。



洋画 飯塚市
古賀 利一

創るという湧きあがる
気持ちを大切にします。



書 飯塚市
前田 紅舟

書の魅力、難しさが深
まる日々、精進します。



書 福岡市東区
北崎 秀楓

ようやく皆さんの一員
に入れていただき感謝。



彫刻 福岡市西区
松永 慎一郎

協会の発展に寄与でき
るよう研鑽に励みます。



洋画 春日市
藤蔭 啓子

朽ちるとも凛として・・
日々を大事に。



洋画 福岡市南区
五郎丸 千恵子

ワクワク、ドキドキして
描き続けたい。



書 福岡市南区
本畑 涼子

書法を学び、今後も努
力してまいります。



書 大野城市
古賀 早智子

捉われない心で書に
向きあいたい。



工芸 遠賀郡水巻町
直野 由利子

新たな気持ちで作品
作りに励みます。



洋画 北九州市八幡西区
前田 久美子

楽しみ乍ら努力あるの
みと思って描き続けてます。



洋画 北九州市八幡東区
佐藤 華余子

果てしない道を楽しく
描きたいと思います。



写真 大牟田市
角 和典

写真の和を広げたい。



書 福岡市東区
中山 不動

書を世界に広める
一助になりたい。



工芸 北九州市八幡西区
能隅 厚生

竹工芸品の実用と美を
追求してまいります。



洋画 福岡市中央区
松岡 久子

絵を描ける境遇に感謝
し、真摯に努力します。



洋画 行橋市
城水 弘子

自分らしさを追求して
楽しく描いていきたい。



洋画 田川郡赤村
小川 かおり

今後も自己研鑽に
努めたいと思います。



日本画 宗像市
小方 一憲

墨の魅力を追求してい
ければと思います。



写真 那珂川市
山中 美恵子

今後共「継続は力」と
信じ カメラに乾杯!!



書 田川郡福智町
東 真須美

好きなことを続けられ
ること。感謝です。



書 筑紫野市
石橋 恵子

楽しみながら精進して
まいりたいと思います。



洋画 大野城市
山崎 あゆみ

食欲に学び続けていま
す。



洋画 大牟田市
塚本 和美

生涯学びながら
精進して参ります。



洋画 小郡市
嘉村 正彬

健康に留意して楽し
みながら描き続けたい。



日本画 福岡市早良区
金光 陽子

楽しんで、描きたい
と思ってます。



デザイン 福岡市東区
田 スンヒョク

輝く作品を制作するこ
とが夢です。



書 久留米市
樋口 美智子

日々精進して参ります。



書 福岡市西区
一ノ瀬 愷子

温故知新の心を大切に
努力して参ります。



彫刻 福岡市東区
白川 沙紀

これから先もずっと
彫刻して生きたい!



洋画 福岡市西区
中原 未央

日々努力して制作に
励んでまいります。



洋画 福津市
川原 由美

感動を忘れずに・・・
好奇心をもって・・・



洋画 直方市
阿部 直昭

工夫する事で心の感動
を引き出したい。

新会員紹介

ご入会
おめでとう
ございます

今後ますますのご活躍を



新役員紹介

今期もよろしくお願ひします



理事
筒井 知徳
(工芸)



理事
千本木 直行
(彫刻)



理事
友添 泰典
(洋画)



理事
宇田川 宣人
(洋画)



理事
江藤 紀世
(日本画)



専務理事
小林 敏夫
(写真)

美術協会活動の更なる充実、
活性化の為にしっかりと職責を
果たしてまいります。
新



副理事長
鐘ヶ江 勢二
(書)



理事長
小田部 黄太
(彫刻)

理事



理事
田辺 幹夫
(デザイン)

県美術協会会員の芸術活動が、円滑に出
来るように、お手伝ひします。
新



理事
廣田 俊憲
(写真)

理事の職責を果たし、美術協会の発展に
尽力して参りたいと思っています。
新



理事
矢野 菜山
(書)

新理事として様々な課題に挑戦して行き
ますのでよろしくお願ひします。
新



理事
阿部 眞士
(工芸)

福岡県の美術への向上と発展に微力なが
ら務めさせていただきます。
新



理事
城戸 久美子
(日本画)

美術協会の発展の為に、微力ですが皆様
と共に力を注いで参りたいと思います。
新



理事
山田 彰
(デザイン)

新しく理事になられた方に
抱負をうかがいました。



事務局長
田浦 哲也
(洋画)

事務局参与
落石 稔彦(会員外)

新



顧問
太田 秀隆
正会員(工芸)

事務局



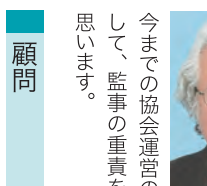
顧問
奥園 久治
正会員(彫刻)



顧問
今林 久
(福岡県議会議員)



顧問
松尾 新吾
(九州電力株式会社
特別顧問)



監事
吉塚 雄二
(写真)

今までの協会運営の経験をいか
して、監事の重責を果たしたいと
思います。
新



監事
篠原 俊
(外部監事
公認会計士)

監事

これまでと、理事選任の要件が変わりました

この度、令和元年度総会場で、
新理事の皆さんが決定いたしました。
今回から理事選任の要件が変更
となりましたが、特に「監事・部会
正副委員長の役職に就いていない
こと。(部会委員であることを要し
ない)」が今回の大きな変更点でし
た。このことは、部会と理事の仕事
(事務局長 田浦哲也)

退任役員のご紹介

任期お疲れさまでした。

理事
奥苑 和司(日本画)

理事
丸田 巧(工芸)

理事
井上 泰三(書)

理事
川波 猗嶂(書)

専務理事
吉塚 雄二(写真)

理事
河地 知木(デザイン)

監事
鐘ヶ江 勢二(書)

部 門	役員氏名	担当業務
日本画	江藤 紀世	県展
	城戸 久美子	シニア展
洋 画	宇田川 宣人	新美術館建設推進(担当長)
	友添 泰典	県展
彫 刻	小田部 黄太	県展
	千本木 直行	広報(担当長)
工 芸	阿部 眞士	県展
	筒井 知徳	財務(担当長)
書	鐘ヶ江 勢二	県展(担当長)
	矢野 菜山	シニア展
写 真	小林 敏夫	シニア展(担当長)
	廣田 俊憲	県展
デザイン	田辺 幹夫	県展
	山田 彰	広報(副担当長)
監 事	篠原 俊	※外部監事・公認会計士
	吉塚 雄二	※写真部

〈 賛助会員のご紹介 〉

多くの企業の御支援を
いただいています。

- 九州電力(株)
- (株)福岡銀行
- 西部ガス(株)
- 西日本鉄道(株)
- (株)西日本シティ銀行
- (株)九電工
- 九州旅客鉄道(株)

(株)味の兵四郎
(株)岩田屋三越
北九州書道協会
(株)喜多屋
ギャラリーSEL
社会福祉法人 さわやか会
(株)上海堂
祥文社印刷(株)
(資)書材の丸大
(株)新出光
(株)杉田写真館
(有)スズキ補聴器センター
西部沢井薬品(株)
(株)ゼンリン
太宰府天満宮
タマホーム(株)
(株)テレビ西日本
東美福岡店
(学)中村産業学園
九州産業大学
九州産業大学造形短期大学部
日本デザイナー学院
(株)博多大丸

美術総業 白美堂(有)
晩香堂
東昭栄興業(株)
福岡芸生美術会
(株)平助筆復古堂
墨扇堂
ミナミ画材
(株)山本文房堂
文房四宝 和美創
(株)ワン・オフ
〈新賛助会員〉
朝日自動車(株)
有澤ホールディングス(株)

(株)ACR
(株)ヴォイス
(株)久原本家グループ本社
(医)佐田厚生会佐田病院
(株)サンピルテックスシステム
(株)唐人ペーカリー
トヨタカラー博多(株)
長門博之法律事務所
(学)中村学園
(株)中村美術堂
(株)博運社
宮崎宮
(学)福岡成蹊学園
福岡外語専門学校
福岡ロジテム(株)
平成美術(株)
南谷総合法律事務所



福岡県美術館 新館長ご紹介



福岡県立美術館
館長
今田 義雄

福岡県美術館におかれましては、創立以来、今日まで79年もの長きにわたり、本県の芸術文化の普及、振興に多大な貢献を賜り、深く感謝いたします。

特に、美術館との共催事業である県展は、今回で75回目を迎え、全国有数の歴史と規模を誇る、県民の美の祭典と呼ぶに相応しい伝統行事であると確信しています。

また、福岡県シニア美術展開催をはじめ、県内各地域の美術公募展等への指導や助成

退任のごあいさつ

福岡県立美術館 前館長 清田 嘉治



美術館長を退任いたしました。

美術に情熱を傾ける多くの方たちとの関わりは、職業人としての日々の中で最も充実していたと思います。

等、協会の活動は実に幅広い範囲に及んでいると承知しています。皆様の御尽力に対し、改めて敬意を表します。

福岡県立美術館は、前身である福岡県文化会館の開館から55年目を迎えています。スタッフが一丸となって、県民に美術の魅力を実感できる環境を創り出せるよう日々取り組んでいるところです。今後とも美術協会の御協力を賜りながら、本県の美術の更なる振興と発展を目指し努力してまいりたいと考えております。

最後に、福岡県美術協会の益々の発展と会員の皆様方の御活躍を祈念し、挨拶いたします。

美術は誰にとっても、心や生活を彩り豊かにしてくれるものです。人は誰もが、そんな美術の蕾を内包しています。美術と共にあり、指導する力がある方は、その蕾に水や肥料を施し、花としての道を与えられます。

皆さんの振るう腕の力を、これから市井の一人として見物することとします。感謝とともに、皆さんのご活躍を祈ります。

賛助会員の募集について

「賛助会員募集のパンフレットをご利用ください」

公益社団法人福岡県美術協会 賛助会員募集のパンフレットを新しく作りました。その効果もあって賛助会員十数社の新規ご加入をいただきました。今回入会特典として県立美術館の主な展覧会（常設展を除く）の優待券を、1口につき年間10枚進呈することになりました。会員募集にご協力お願いします。今後賛

七曜舎の話

元七曜舎事務局 彫刻部会員 天野 洋満

私は何をしても良いのか分からなかった。

二十五歳の時、福岡へ戻り、彫刻を勉強し直す事とし、あちこちのヌードデッサン会に顔を出していた。三十歳になる秋、文房堂のデッサン教室で、小田部泰久先生と出会った。ある彫刻展で、「サーカスの綱渡りをするピエロ」の作品を見、小品の石膏取りの仕方を尋ねた初老の人が、その教室の先生であった。

教室終了後、近くの居酒屋で十人位の若者達と一杯飲んで帰るのが習慣であり、間もなく私も「いっしょに飲まんね」と声をかけて頂いた。毎回、先生の博識な話と、くだけた話題が楽しかった。

私が彫刻をする事が分かり、先生の石膏取りを手伝う様になった。先生のアトリエで、サッチモを聞きながら、黙々と二人作業をした。暑いアトリエだった。奥様手作りのお昼を何回頂いた事が、作業終了後は、毎回居酒屋でちろちろになった。楽しかった。

助会員と会員の皆さんとの交流の場等も計画していきたくと考えています。

(事務局 長 田浦哲也)



デッサン教室は、文房堂から荒戸へアトリエを移し、毎日、仕事をする様になると言う意味で七曜舎と名付けられた。更に、近くの風呂屋の二階にアトリエを移し、先生との楽しく飲み、語らう長い日々を過ごすことができた。十一年前、先生の体調が悪くなり、その年の秋に亡くなられた。あと数日で八十二歳になられる時だった。その後、残った者で話をし、続けられるだけデッサンをやつていこうと言う事になった。

場所を移しながら七曜舎は続き、人は入れ替わり、半分の方が、生前の先生を知らない様になっていた。気が付けば昔からの会員も、それなりの高齢になり、残念ながら今年三月いっばいで七曜舎は解散となった。

「次の世代の芸術を志す人を育てたい」と言っておられた小田部先生。ありがとございました。

【閉会後は残金を協会に寄付するとお決めいただいていたということで、「二六八、二五五円」ご寄付をいただいたことを報告いたします。事務局】

第75回福岡県美術展覧会開催に寄せて

福岡県立美術館 普及課 石原 政明



昨年度から県展を担当しています石原と申します。今回の75回から魅力ある県展をめざし大きな変更を行いました。具体的には、出品申込書がA4用紙1枚になり、当館ホームページからダウンロードもできるようになりました。また、作品規定も

よりわかりやすい内容に変更しました。このような大きな変更を行うにあたり、小田部理事長をはじめ、多くの会員の皆様に多大なご協力を頂きました。この場をお借りしまして感謝申し上げます。会員の皆様には、出品者が増えますよう、是非お声がけしていただき、福岡の美術が益々発展しますようご協力をお願い致します。

会期:

〈第1期〉【書】 9/ 3(火)～8(日)
 〈第2期〉【洋画】9/10(火)～16(月・祝)
 〈第3期〉【日本画・彫刻・デザイン】
 9/18(水)～23(月・祝)
 〈第4期〉【工芸・写真】
 9/25(水)～29(日)

会場:福岡県立美術館

巡回展(筑後展/大牟田文化会館・宗像展/宗像ユリックス・筑豊展/嘉麻市立織田廣喜美術館・北九州展/北九州市立美術館)

第75回 福岡県美術展覧会 公募

搬入 福岡県立美術館 10:00-17:00

書 7月18日(水)・19日(金)・20日(土)
 出品者募入日 7月25日(水)・26日(金)

日本画・洋画・彫刻・工芸・写真・デザイン
 8月3日(土)・4日(日)

2019年9月3日(火)～9月29日(日)

巡回展

日本画 洋画 彫刻 工芸 書 写真 デザイン

福岡県立美術館

第19回 福岡県ねりんスポーツ・文化祭 2019 福岡県シニア美術展 作品募集

出品資格 福岡県内に在住する60歳以上の方(昭和35年4月1日以前に生まれた人) 福岡県美術協会の会員は対象外とします。

出品作品 日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・デザイン

出品料 1,500円

TEL (092) 713-4200 FAX (092) 791-1472

福岡県立美術館

2019福岡県シニア美術展

福岡県人づくり・県民生活部スポーツ振興課 安東 真郷

今年で「福岡県シニア美術展」の担当も2年目となりました。

昨年初めて皆さんの作品を拝見し、シニア世代の方々が表現される多種多様な世界観に、これまであまり芸術作品に触れてこなかった私も思わず引き込まれました。今年もどのような作品を目にできるのか楽しみにしております。

皆さん、会場でお会いできるのを心待ちにしております。

福岡県内に在住する60歳以上の方を対象とした公募展(福岡県美術協会員は対象外)。高齢者の創作による、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・デザインの作品を広く募集して展示し、高齢者の文化活動を促がすとともに、ふれあいと生きがいづくりを推進します。また、この美術展は「第33回全国健康福祉祭」の福岡県代表作品(北九州市、福岡市、デザイン

部門を除く)を選考します。

申込期間:7月8日(月)～9月9日(月)

出品資格:福岡県内に在住する

60歳以上の方

出品料:1,500円

会期:

〈第1期〉【洋画・彫刻・工芸・デザイン】
 10月2日(水)～6日(日)

〈第2期〉【日本画・書・写真】
 10月8日(火)～14日(月・祝)

会場:福岡県立美術館

入場無料

令和元年度 在籍40年表彰者

公益社団法人福岡県美術協会では、40年以上(1979年入会)にわたり、協会の運営に尽力した会員を表彰しました。本年度表彰の方18名を含めて、在籍40年以上の会員は計66名になりました。

名誉会員【写真部】 榊 晃弘

正会員【洋画部】 青沼 茜雲
 【洋画部】 安達 弘記
 【洋画部】 石井 邦光
 【洋画部】 加呂 昌太郎
 【洋画部】 是澤 清一
 【洋画部】 側嶋 真智子
 【洋画部】 瀧井 利子
 【洋画部】 松岡 英明

【工芸部】 遠藤 喜代志
 【工芸部】 富永 保雄
 【書部】 阿部 蒼舟
 【書部】 澁谷 和美
 【書部】 師村 妙石
 【書部】 満江 秀陽
 【書部】 山本 飛雲
 【書部】 吉永 秀峰
 【写真部】 井口 益次

県議会議長室前に 第74回福岡県美術展覧会 〈会員の部〉受賞作品を展示

県議会議長室前ロビーに第74回県展〈会員の部〉受賞作品が展示されました。今回の展示作品は、日本画・江藤 紀世さん「向う岸」、写真・渡辺 和幸さん「思い出の番犬」、書・三木 清雲さん「間行」の3点です。



税

- ☒ 法人
- ☒ 個人
- ☒ 相続
- ☒ 開業支援

大松隆税理士事務所

☎092-631-3000

JR箱崎駅より徒歩約5分

福岡市東区箱崎一丁目4番10号 エレガントライフ宮崎303号

豊福知徳先生を偲んで

津留 誠一（彫刻）

謹んで豊福先生のご逝去を悼み哀悼の辞を捧げます。
昭和30年、中央展で受賞し、「高村光太郎賞」を受賞。翌年、ヴェネツィア・ビエンナーレ出品。カーネギー美術展で受賞など国際的な舞台での活躍をされ、郷土で彫刻を志す若者として本当に感動しました。

先生は、大正14年のお生まれで、日本が、世界に向けて大躍進をして行こうとしている時期の精神を真直ぐに生きられて、戦後 富永朝堂先生のもとでの修行僧のような厳しい制作姿勢を確立されたのでしょう。先生のご活躍は、官展一辺倒だった私たちの活動に大変革をもたらしました。

公募展に挑戦し、留学を志し、世界の彫刻に目を向け福岡県展の出品内容が、とても賑やかになりました。

永い間、ご指導有難うございました。



「光の探求 '89-1」(1989)
木(マホガニー) 207x315x40cm

豊福知徳(とよふく とも のり)

1925年久留米市山川に生まれる。1970年日本万博出品。1978年北九州市豊福知徳展で第10回日本芸術大賞受賞。1983年久留米市中央公園「石声庭」。1987年福岡市「那の津幻想」。1990年毎日芸術賞。1993年紫綬褒章受賞。1996年博多中央埠頭「那の津往還」で本郷賞。2003年西日本文化賞。2005年福岡県文化賞。他。令和元年5月18日死去。享年94歳。



豊福知徳先生お別れの会

日時／令和元年7月29日（月）12:00-（受付11:30-）

場所／ANAクラウンプラザホテル福岡2階（旧全日空ホテル）
福岡市博多区博多駅前3-3-3

会費／10,000円（食事、オリジナルミニスケッチブック付き）

問合せ／一般財団法人 豊福知徳財団 Tel/fax 092-831-7983

参列をご希望の方は、氏名・電話番号を明記の上
ファックスにてご連絡ください。

ホームページの充実に向けて —消費されることのない表現の場として

ホームページ委員会 津田 三朗（彫刻）

協会のHPを公開しました

ようやくこの春、ホームページ（以下をHPと表記）公開までに至ることができました。「福岡県美術協会」で検索するか下記のアドレスにアクセスして下さい。スマートフォン、携帯からも直接閲覧できます。

トップページは、会員展の入賞作品のスライドショーとなっていて、個々の表現の世界を楽しむ事ができます。そして、「会員による近日開催の展覧会情報」、「新着のお知らせ」へと繋がります。協会の概要や年間の事業計画、賛助会員のご紹介等々、数多くの情報が掲載、更新がされています。

会員個人ページの充実とデータの提供について

これから一層の充実が期待されるのは、会員個人ページであり、このページを作り上げて行くのは、皆さんの日々の制作活動、作品そのものです。

トップページの「新着のお知らせ」の最後の行、ホームページに掲載する会員個人ページ情報の募集をご覧ください。現在事務局とHP委員会の有志による情報登録の作業を進めていますが、現在の仕事との並行作業となり大変な作業量となります。登録作業の効率化のために、掲載情報のテキスト（掲載作品情報、履歴、リンク等）は、デジタルのデータで校正済みのものを出来ればご提供していただければと思います。掲載する作品写真等も紙媒体、プリント等は、デジタルに変換の上、ピントや色、明度階調を確認したものをお願いいたします。入稿は、メールまたはUSBメモリー、CDやDVD等のメディアをご利用いただければと思います。

年一度の会員情報以外の掲載情報の見直しや更新、システムのメンテナンスは、業者が行います。

このめまぐるしく変わるネットワークの情報世界の中で、コツコツと手作りされていく美術協会HPが、消費されることのない表現の場として成長していけますよう皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

●協会HPの閲覧はこのQRコードをご利用ください。

●協会HPアドレスは <https://fukuoka-ken-art-society.com>



デザイン部会の取り組み

今年もよろしく challenge KENTEN

福岡県展デザイン部公募の出品は、若い学生が多い。その出品促進としてデザイン部会員が担当を決めて、毎年チラシを各学校に配布しています。ぜひご活用ください。

（デザイン部会委員長／岩崎勇）



チャレンジケンテン チラシ

チラシ配布準備の作業風景

第19回雪梁舎フィレンツェ賞展 優秀賞受賞 野出員子さん —イタリア フィレンツェでの作品発表報告—

この『雪梁舎フィレンツェ賞展』が昨年で20周年を迎えました。その前年度に上位受賞を頂き、20周年の節目にイタリアフィレンツェでの作品発表に参加させて頂くことができました。式典では、在ミラノ総領事館の雨宮さんが来賓でお見えになっていました。また、作品発表の際にはフィレンツェ賞展審査員長とフィレンツェアカデミーの先生に講評もしていただき全国各地の作家との交流もでき大変勉強になりました。（文責：野出員子）



受賞作品「現代風景I」

慎んでお悔やみ申し上げます。

■小西 蛭舟さん（76歳）写真 平成30年12月
■亀田 光枝さん（68歳）洋画 平成31年 1月

■豊福 知徳さん（94歳）彫刻 令和元年 5月
■城台 巖さん（102歳）写真 令和元年 5月

fas gallery

展覧会・出版のご案内

「万葉のこころ」榊晃弘 写真展

■ 4月9日(火)-12月27日(金) 月曜日休日
■ 大宰府展示館 太宰府市観世音寺4-6-1

古都太宰府保存協会主催
榊晃弘写真集「万葉のこころ」の作品展示

榊晃弘「中国の古橋」写真展

■ 8月1日(木)-8月18日(日)
■ やまと文化の森 熊本県上益城郡山都町下市16番地

通潤橋で知られる山都町で、中国の古橋(B1サイズの作品)を展示する。

第15回CGアート展

■ 8月6日(火)-8月11日(日) ■ 山本文房堂

九州造形短期大学公開講座受講生による作品展。コンピュータグラフィックスを使ったポスター・イラストなどの作品を多数展示します。(田辺幹夫)

21世紀のメッセージ2019展

■ 8月19日(月)-8月24日(土)
■ ギャラリー暁(銀座)
東京都中央区銀座6-13-6

この美術展は内閣府が2020東京オリンピックに伴い文化活動に対して設立した『beyond』の認証事業です。(久保輝秋)

「大地漂流」久保輝秋



示現会 女性会員展

■ 8月27日(火)-9月1日(日)
■ ギャラリーSEL

福岡支部及び久留米支部会員の女性だけの初の小品展です。支部では女性の活躍が活発化し様々な挑戦をしている作品を展示します。(瀧井利子)



「六月の頃」五郎丸千恵子

第72回示現会展

■ 9月10日(火)-9月16日(月・祝) ■ 福岡市美術館

福岡市美術館改装後初の72回示現会展。会場は市民ギャラリーで具象作品を中心に巡回作品30点に地元作品を合わせ107点展示いたします。(瀧井利子)



「山稜景」成田蔵順介

秀交会展

■ 9月28日(土)-9月30日(月)
■ コスメイト行橋 企画展示室 (工藤崇峰)

緒方公代作陶展

■ 10月1日(火)-10月6日(日) 青磁象嵌の作品を中心に展示します。
■ 村岡屋ギャラリー 2F

酒井忠臣×近藤えみ～黒と白の響創～

■ 10月1日(火)-10月6日(日)
■ ギャラリー風

黒の造形と白の造形、ふたつの個性が生命の響きを奏でます。



酒井忠臣



近藤えみ

光行洋子洋画展

■ 10月6日(日)-11月4日(月・祝) 火・水曜日・休日
■ gallery cobaco +café and shop

朝倉市牛鶴109
ギャラリーオープン1周年を記念する画廊企画による個展。油彩・ドローイング等約25点を展示。



必ず元気になる作品展

■ 10月8日(火)-10月13日(日)
■ 村岡屋ギャラリー

其処にあると癒され元気が貰える平面・立体作家8人の作品を展示。今年もガチャガポン作品あります！(原谷明弘)

松村栄二木版画個展

■ 10月12日(土)-10月14日(月・祝)

■ ギャラリー茶房 ぶくら
筑紫野市武蔵1-3-5

初の個展になります。過去の作品から最近の作品まで大きな作品から小さな作品まで木版画作品を展示させて頂いています。ご高覧下さい。(松村栄二)



「漁港にて」松村栄二

第28回 雲心書作展 -筆に想いをたくして-

■ 10月10日(木)-10月14日(月・祝)
■ 旧古河鉱業若松ビル2F 北九州市若松区本町1-11-18

ギャラリートークを10日(木)、12日(土)、13日(日)の14時から開催。(山本飛雲)

自由課題 たなけん展vol.5

■ 10月22日(火)-10月27日(日)
■ 村岡屋ギャラリー2F・3F

九州造形短大名誉教授田辺幹夫先生と、先生を恩師と仰ぐ生徒との自由な作品を持ち寄った展覧会。

第6回 慎思会展

■ 10月22日(火)-10月27日(日)

■ 福岡市美術館
ギャラリーB・C・D

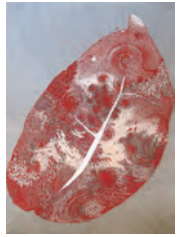
北村久峰先生に古典を学ぶ100名が書の芸術を追求。隸書、楷書、篆書、行書、調和体で110点表現展示。(北村久峰)



日比野桂子展

■ 11月6日(水)-11月10日(日)
■ 福岡市美術館ギャラリーE

旧作～新作まで、自分の歩みを並べて、進化とは、何かを改めて、考えたいと思っています。



「生命を繋ぐ」

独立福岡会員作品展

■ 11月26(火)-12月1日(日)
■ 村岡屋ギャラリー2F

独立福岡会員9名による作品約20点を展示。(鳥飼壽徳)



「封砂」鳥飼壽徳

榊晃弘「巨樹」写真展

■ 11月26(火)-12月1日(日)
■ 福岡市美術館ギャラリーF

九州沖縄の生命力溢れる個性的な巨樹の写真35点展示。榊晃弘「巨樹」写真展実行委員会主催。



・ギャラリー暁……………tel 03-6264-1683
・ギャラリー風……………tel 092-711-1510
・ギャラリーSEL……………tel 092-741-4890
・gallery cobaco……………tel 090-2512-5427
・ギャラリー茶房 ぶくら……………tel 092-924-2222
・旧古河鉱業若松ビル……………tel 093-752-3387
・コスメイト行橋企画展示室……………tel 0930-25-2300
・大宰府展示館……………tel 092-922-7811
・村岡屋ギャラリー……………tel 092-711-1187
・福岡市美術館……………tel 092-714-6051
・やまと文化の森……………tel 0967-72-9400
・山本文房堂……………tel 092-751-4342

編集後記 | 今回は、令和に変わった最初のFASとなりました。

HPも一般公開される中であって、会員の皆様に益々有益情報誌としての役割を果たすため、気合十分委員会でした。和気あいあいの中、楽しい広報委員会に感謝です。(広報委員会: 廣田俊憲)

【広報担当理事】 千本木直行
【広報担当副理事】 山田彰

【広報委員会】 ● 委員長: (彫刻) 津田三朗 ● 委員: (日本画) 峰松由布子 / (洋画) 大塚美和子 / (工芸) 富永久仁代 / (書) 古木青翰 / (写真) 堀川不二男 / (デザイン) 磯脇みつこ

BASE
CREATIVE, INC.

どうりで37年間も続くワケだ。

ワケありな訳

